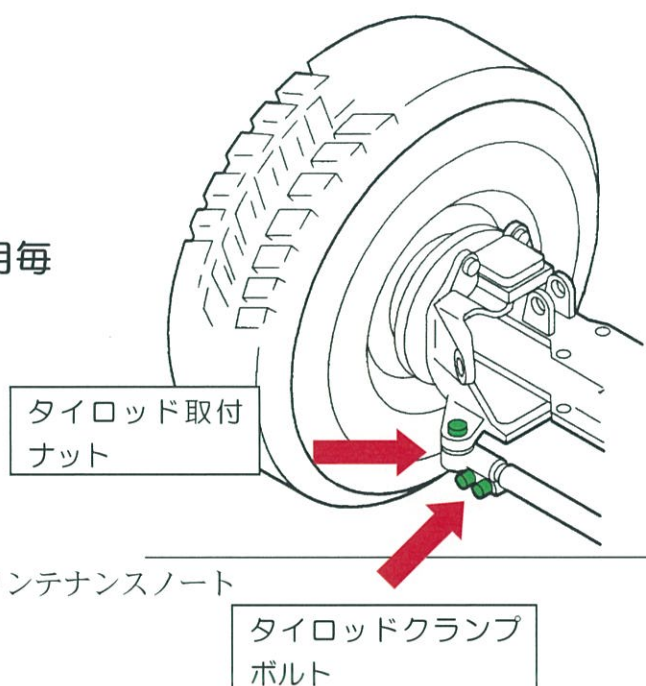


タイロッド取付ナット、クランプボルト点検について

この度、リコール工事にて、タイロッドの交換を実施する車両があります。タイロッドは左右のタイヤが同調して切れるようにするための重要な部品です。経年変化により緩みが発生すると最悪の場合タイロッドの脱落につながり危険ですので、定期的な点検の励行をお願い致します。なお、ラフテレーンクレーンは“事業用自動車等”の扱いとなり、使用者は法令により定期点検、整備が義務付けられていて、この点検も点検項目のひとつになっています。(※)

点検時期・・・3ヶ月毎



(※) 点検整備方式は車両のメンテナンスノート
を参照し実施願います。

締付トルク表 N・m(kgf・m)

機種	取付ナット	クランプボルト
MR-100(M),MR-100(M)Lsp,MR-100(M)LspV, MR-130(M),MR-130R(M)	147～196 (15～20)	63.7 (6.5)
SR-200R,MR-220,MR-220sp,MR-250, MR-250R,SR-250,SR-250sp,SR-250spV, SR-250VR,SR-250R,MR-350SL,MR-350R	490～588 (50～60)	新しいトルク 129.0 (13.1)
SS-350,SS350spV,SS-500(S),SS-500sp, SS-500spV,SL600,SL-600 II,SL-650R	539～735 (55～75)	83.3 (8.5)

上記、新しいトルクに変更している車両はリコール工事にてタイロッド ASSY の交換をした車両も含まれます。

新しいトルクの対象機種には作動油タンクに締付トルクを記載した銘板が貼付してあります。新しいトルク対象機種で、銘板の貼付が無い車両は、83.3N・mで締付を行ってください。

クランプ部のシーラーの塗布状態を確認し、切れ又は剥がれ等の不具合がある場合は当社の指定サービス工場での適切な点検・整備を受けて下さい。